

教育の王道を歩み進化し続ける

●浦高校校長・杉山剛士様の講話！

それでは、昨6日の午後5時15分から行われた県立浦和高等学校校長・杉山剛士様の講話「浦高の現在と未来」を綴ってまいります。資料の写真やデータは、杉山様作成の資料や浦高ホームページから引用させていただきます。

＊ ＊

◆「浦高の現在と未来」杉山剛士校長

皆様、こんばんは。今年で浦高3年目に入りました杉山でございます。前々から香田さんから春日部地区浦高会の会報「喫茶去」をお送りいただき、多岐に亘る活動を拝見させていただく中で、こちらの総会にはぜひ一度出席させていただきたいと思っておりましたが、こうして願いが叶い嬉しく思っております。本日は高校2回80歳を超えられた先輩から52回30代の若者まで幅広い年齢層の方々が集まっておられ、これが地域同窓会の良さだと感じたところでもあります。私は浦高卒業生ではございませんが、28回卒の監事の鈴木さんと同じ年ということになります。



これから約40分弱でございますが、「浦高の現在と未来」をお話させていただきます。

＊ ＊

◆浦高の現在

最初に「浦高の現在」でございます。最新のトピックスを4つほどご紹介させていただきます。



最新トピックス①は、7月に近畿地方で行われました「平成27年度全国高等学校総合体育大会」の競泳100m・200m平泳ぎで戸澤淳也君が第2位に輝きました。その他、バスケットでも地区大会で4位の成績を残し、アンダー18日本代表に村岸君が選ばれるなど活躍しています。

最新トピックス②は、6月に行われた米国最大の青少年スピーチ&ディベート競技会NFLJ英語ディベート大会in大分プレ開会で浦高チームが全国優勝し、日本代表としてアメリカ大会に出場することが決定しました。スピーチ部門でも第2位に入りました。



最新トピックス③は、日本テレビで中継されます全国高校生クイズ選手権大会に浦高チームが出場し、9月6日の地区大会は勝ち抜け、次は11日21時から放映される全国大会です。結果は私も知らされていません。

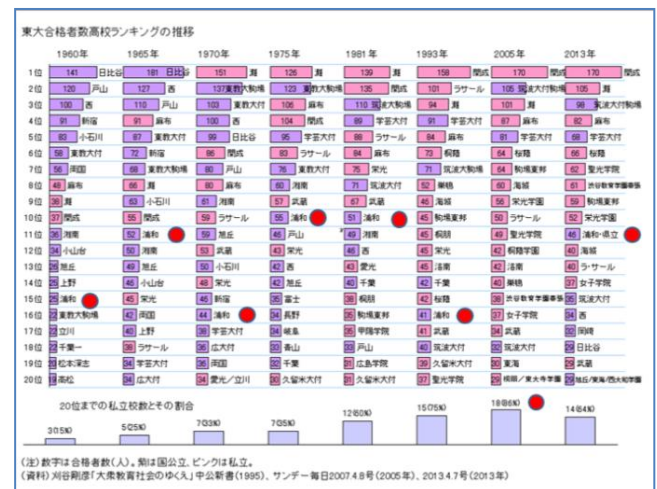


最新トピックス④は、9月12日(土)～13日(日)に行われる浦高祭です。恒例の門は昨年が安土城でしたが、今年はドイツ・ロマンチック街道にあるノイシュヴァンシュタイン城です。この写真は金曜日のものですが、これから1週間が追い込みとなります。

さて、トピックスをお示しいたしましたが、「現在の浦高は、教育の王道を歩みながら進化している学校」と言うことができると思います。

具体的に30年、40年前の過去と違う現在の高校事情についてご説明いたしますと、一つは私立高校、特に中高一貫校の躍進が挙げられます。次に受験産業の興隆であり、早い時期から子どもたちが受験をして中高一貫校へと進んでいます。もちろん少子化で子どもたちが少なくなっているという面もございます。

次の表は、雑誌などで掲載された東大合格者一覧です。●印が浦高の位置ですが、1960年が15位、75年、81年が10位でその後低迷した時期があり、2005年が20位圏外、そして13年が11位で公立ではトップに復活しました。

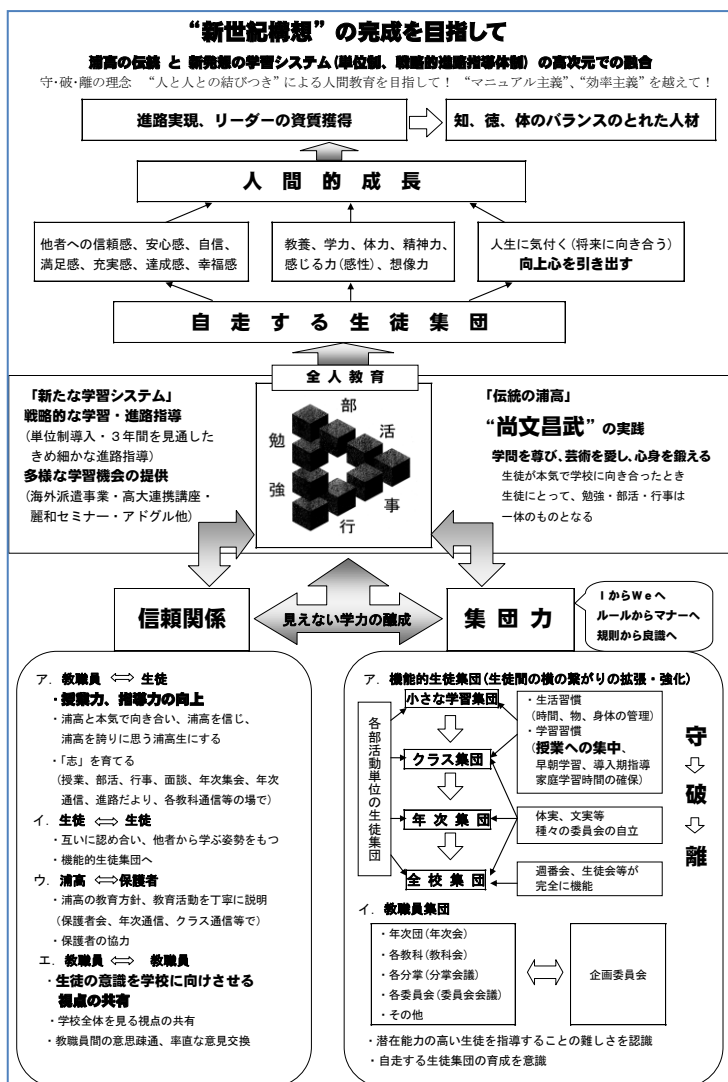
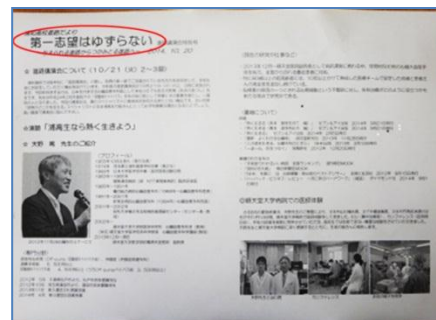


では、ここ10年間の浦高の取り組みについてお話ししたいと思います。特筆すべき点として「浦高教育の理念の言語化・共有化」が挙げられます。浦高の教育理念では

- 尚文昌武(しょうぶんしょうぶ)
- 少なくとも三兎を追え
- 無理難題に挑戦しろ
- 世界のどこかを支える人間になれ

昔の浦校での教育は、「離離離（りりり）」だったかも知れません。最近の私立は「守守守」

特筆すべき点の二つ目が「**高い意識の教員集団と構想策定力**」です。「**覚悟と矜持**」という言葉を使います。教員が他校とは違うんだという覚悟と矜持・プライドを持って授業や生徒たちに臨んでいます。そして、教員同士、教員と生徒との「**信頼関係**」、私学に対抗するための「**集団力**」で進んでいます。それをまとめたものが「**新世紀構想**」です。





が80%を超えています。

次が「泳げ」です。7月の臨海学校、東日本大震災以降の3年間は新潟県に行っていましたが、今年から弓ヶ浜に戻り開催しています。遠泳では、達成感や絆、自信が生まれます。

こうした浦高の取り組みが、ラグビー部の全国大会出場をきっかけとしてさまざまな形で新聞などに取り上げられました。ラグビー全国大会出場前には朝日で「浦高、文武両道トライ」「勉強・部活・行事 三兎を追え体現」、小学生対象の説明会に対しては朝日で「名門公立高 小学生「困い込み」「中高一貫台頭に危機感 魅力発信、攻めの説明会」、読売では「公立高校にトライしてね」「浦高の運動部員ら、児童市道でPR」などのタイトルで記事が書かれました。

* ◆学校説明のライドから

先生方が工夫してくれた浦高を紹介するライドをいくつかご紹介します。

最初は「走れ！」です。5月に行われる新入生歓迎マラソンです。現在は東松山の森林公園で行われます。そして11月の古河強歩大会、最近では完走者

5月の体育祭は「雨天決行！」です。浦高の行事は雨天決行です。さらにサッカー、綱引き、バレーボール、ラグビー、剣道、柔道、駅伝、ソフトボールなどの「スポーツ大会」には教員チームも参加し、生徒たちと本気で戦います。ラグビーではモールを作って押し込むという戦法で教員チームが勝つということもありました。

教員が真剣に取り組むのは、スポーツ大会だけでなく、授業の資料作りにも表れています。写真は国語の教材や数学の演習ノートです。

生徒たちも真剣です。私は朝1年生の教室を回って教壇の掃除をしているのですが、授業開始1時間前の7時30分には生徒たちが黙々と勉強しています。夜は9時まで部活を終えた生徒たちが集団で勉強しています。こうした集団の力が、ラグビー部の全国大会出場に繋がったと思います。

このように「浦高の凄さは、時代に迎合しない、されど対応する、教育の王道を歩みつつ進化し続ける浦高」と言えると思います。

浦高には、「浦



高魂」というTシャツがあり、生徒たちは最後まで努力する時に「浦高魂」と言っています。そうした積み重ねが文化となり、浦高の雰囲気を作り上げていると考えます。



＊ ＊

◆浦高の未来

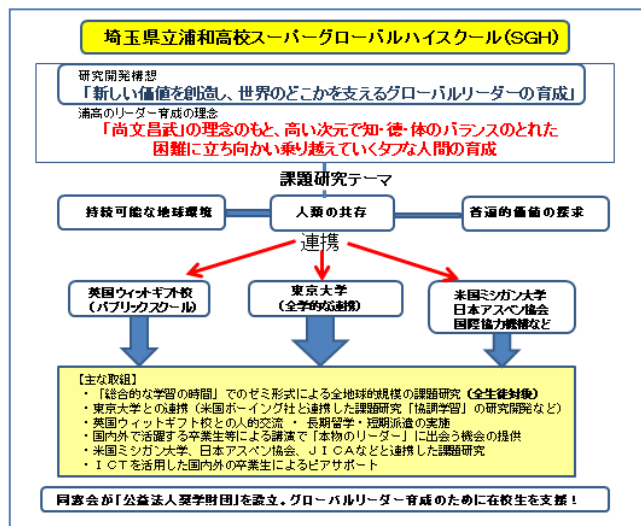
川野会長さんのご挨拶にもありましたように、埼玉の浦高、日本の浦高、さらに世界の浦高へということです。広く人材を世界に雄飛させ、世界の平和と繁栄に貢献する志を持つグローバル人材を作ろうとしています。

私はグローバル人材というのは、英語ができるということだけでなく、タフであることと優しさが求められます。グローバル社会は競争社会ですので競争に負けないタフさが必要です。また、グローバル社会は共生社会であり、共感力、優しさが求められます。今、そうした力を持てる人材を浦高教育で育てています。さらに積極的に外に飛び出すこと、多様で異質な他者との出会いの中で刺激を受けることで本物の力が付くと考えています。

未来を展望した時に、タフさと優しさ、共感力を備えた人材が世界の平和と繁栄に貢献することができ、まさに校歌の「広き宇内に雄飛せん」ですね。



■SGH（スーパーグローバルハイスクール）



平成 26 年度から文部科学省が全国の学校の中で、グローバル人材教育を進める学校を選定し SGH として認定しました。その一つが浦高のリーダー育成教育です。浦高のリーダー育成理念「尚文昌武」の理念のもと、高い次元で知・徳・体のバランスのとれた困難に立ち向かい乗り越えていくタフな人間の育成の実現です。既に英国ウィットギフト校、東京大学、米国ミシガン大学との連携を図っており、その背景にある同窓会が「公益法人奨学財団」を設立して、グローバルリーダー育成のために在校生を支援しているという点が大きく評価されています。

■世界に飛躍する浦高生

◇英国名門パブリックスクール：ウィットギフト高校との短期交流

◇ウィットギフト高校への長期派遣

◇ミシガン大学・ウィットギフト校サマープログラム派遣

◇MIT／ハーバード派遣

◇第 1 回科学の甲子園全国大会優勝、世界大会出場などが挙げられますが、長期派遣ではケンブリッジに 3 人目が行こうとしていますし、ミシガン大学のサマーキャンプには日本からは浦高生しか参加していません。韓国や中国からの参加者が多いのに日本からの参加が少なく、生徒たちはさまざまな学びをしてきています。川野会長の日本経済新聞の記事が一石を投じてくれたかっこうになっていると思います。同窓会が奨学財団を通じて後押ししてくれていることが大きな励みとなっています。

昨年 12 月にはケネディ米駐日大使も浦高を訪れてくれました。その時に、1 年生のクラスを



回り、突然 10 組に飛び入りして、生徒に好きな音楽を尋ね、何か歌ってとオーダーし、全員で校歌を歌いエールで「フレイ、フレイ、ケネディさん」とやったところ大いに喜んでくれました。

■新しい授業（主体的な学び：アクティブ・ラーニング）

アクティブ・ラーニングでは、課題発見能力、思考力、プレゼンテーション能力を高めるものです。受け身、受動的な学習ではなく能動的な学習を進めるものです。



今年春のアエラに「進化する進学校」という特集があり 5 校が選ばれました。4 校は私立で、公立は浦高だけでした。その中で、特に評されたのは「物レボ」と「ジグソー法」でした。「物レボ」というのは、自分たちで物理の実験を考え、実験を組み立てて勉強し、レポートをまとめるという一貫した授業です。また、「知識構成型ジグソー法」というのは、東京大学との連携で行っている協調型学習法です。

＊ ＊

時間になりました。本日は「浦高の現在と未来」についてお話をさせていただきました。これからも教育の王道を歩みながら進化し続ける世界の浦高に向けて努力してまいりますので、皆様方のご協力をお願いいたします。ご清聴ありがとうございました。